

《単位互換提供科目詳細（シラバス）》

* 科目 No.

2404

科目概要記入欄

1. 開設大学	広島文教大学 人間科学部		開催 方法	■対面（本学）		
	☐ オンライン（同時・録画・資料提示）					
	☐ その他（ ）					
	2. 正式科目名 副題	多文化共生社会論			配当年次	1 年次
				受入学年		
	学問分野	番号	42	名 称	国際関係	
3. 担当教員名	岩下康子					
4. 単 位 数	2 単位		5. 開講学期	2025 年度後期		
6. 開講期間 曜日・時間	2025 年 9 月 30 日（火）～ 2026 年 2 月 5 日（木） 火曜日 13：10 ～ 14：40					
7. 基礎知識の有無	☐ 「基礎知識を必要とする科目」（ ） ☒ 「基礎知識を必要としない科目」					
8. 募集人数	10 人		9. 選考方法	抽選		
10. 科目内容・ 授業計画	世界における人の移動は増加し、地球規模で自分たちの暮らしを考える必要がある。日本社会も少子高齢化が進む中、外国人労働者や外国からの輸入に頼る生活が常態化している。日本社会は、グローバルな経済活動により豊かさを享受する一方で、貧困・飢餓や地球環境問題などの地球規模の課題を生み出し、地球に暮らす住民として影響を受け、時には消費活動等を通してその加害者にもなっている。 ‘Think globally, Act locally’（地球的な視野で考え、地域で行動しよう）という言葉のように、地球規模の共生のために、自分が主体としてできることを考え、実践することを狙いとする科目である。 具体的な内容を列記する。 世界地図を俯瞰して、世界の移民の動き、難民の発生について知り、先進国や近隣国では大量の難民や移民を受け入れた後で、排外主義が生じている現状を知る。一方、日本は、移民という言葉を使わず、期限付きの外国人を受け入れる循環型の人の受け入れを実施する。これについても多くの問題が発生していることを知る。受け入れた外国人に地域社会が何を提供しているのかを探り、今後、日本がさらに多くの外国人を受け入れて、移民社会になっていくことへの展望を持つ。					
11. 試験・評価方法	各回の振り返りシート 60%、レポートの提出 25%、授業への参加の度合い 15%で評価する					
12. 別途負担費用	なし					
13. その他特記事項						
14. 社会人受講	科目等履修生（単位付与）として受け入れ			○可	否	
	聴講生（単位認定不要）として受け入れ			○可	否	